

～年に一度の狂犬病予防接種～



そもそも狂犬病って何？

狂犬病とは、狂犬病ウイルスに感染し発症する病気です。
人獣共通感染症であり**全ての哺乳類に感染**します。
狂犬病を発症したら**ほぼ100%**亡くなってしまいます。
しかし、治療法が見つかっておらず予防接種で狂犬病を
予防するしかありません。

～主な症状～

初期症状は、発熱・悪寒・筋肉痛・頭痛
数日から一週間程度で、興奮・意識障害・錯乱・
幻覚・恐水症・恐風症
やがて全身の麻痺・痙攣が起き、**死に至ります。**

注射は苦手だけど
予防は大切



～狂犬病予防法～

生後 91 日以降から年に一度の狂犬病予防接種が
飼い主には義務付けられています。
また、接種した後も
市区町村から届けを出している証の**鑑札**
毎年受けている証の**注射済票**を身につける事も
必ずやりましょう。



いつなるかわからないからこそ
年に一度の狂犬病予防接種をしよう